

Location KAZUNO

ロケーション



2010 autumn Vol.6

ノスタルジック毛馬内

月山神社に代表される神秘的なロケーションと、
昭和の風情を残した商店街など
どこか昔懐かしいロケーション。
その2つが共存する鹿角北部の町・毛馬内をご紹介します。

かつて南部藩の西端にあって佐竹藩と境を接していた鹿角地域にあって、交通の要衝として栄えた毛馬内(けまない)の町。地名に奥州アイヌの名残あり、昨年南部家による町割400年を迎えた毛馬内の町を太古より守ってきたのが、毛馬内富士とも言われる茂谷(もや)山の裏側に鎮座する月山神社です。1200年ほど前、大同二(802)年に坂上田村麻呂によって祀られたと伝えられる月山神社へ続く参道は、毛馬内の町を起点とし米代川の支流、小坂川を渡って田園を抜け、谷地沿いに山の奥深くへと続いています。小川と併走する曲がりくねった砂利道をしばらく行くと出会う趣のある鳥居の先には、杉の巨木に囲まれた苔生した石造りの階段が敷かれています。前半は緩めの勾配を自然なカーブを描いてひかれ、後半は急なつくりと二段階になっている石段は、車が通れる舗装道が別に作られたこともあり歩む者も少ないため、人工物と自然とが一体化した姿を見せています。時間の流れが止まったような古い石段とその周辺は、人の存在感ではなく森や山の精の気配を感じることができ、日が傾くとすぐに消えてしまう高くそびえる杉からの木漏れ日が、ひと気の少ないこの森に、さらに神気を帯びさせています。

東北自動車道・十和田ICより車だとわずか10分ほどで辿り着くこの別世界、月山神社参道とその周辺の自然環境は、現実でありながら、ある種非現実の様な、幻想的なロケーションを提供してくれます。

